

平成26年度 事業報告

I 事業推進報告

第1 自主交通安全推進事業（公益目的事業1）

1 交通安全意識向上事業

- (1) 交通安全知識・技術の向上を図ることを目的としたセミナーの開催

交通安全地域指導者セミナーの開催については、内閣府主催の平成26年度北海道ブロック交通ボランティア等講習会の開催の意向があり、その開催内容及び対象者が類似することから単独開催を行わず国の事業への支援を行いました。

- ・北海道ブロック交通ボランティア等講習会

交通安全活動の実践的指導方法の習得や指導者としての資質の向上を図るため、市町村交通安全推進員、交通安全担当職員等が講習会に参加し、指導技法を習得しました。

- ・10月20日・21日 札幌市（ホテルポールスター札幌） 117名参加

- (2) 交通安全研修会等への講師の派遣

企業・団体等が開催する交通安全研修会等に、講師として交通安全推進員等を派遣し、交通安全意識の高揚に努めました。

- ・27回派遣

2 調査・研究事業

- (1) 交通安全推進員の設置

総合振興局・振興局内に設置されている地区交通安全推進協議会事務局に交通安全推進員14名を委嘱配置し、地域の実情に即した効果的な交通安全運動を推進するほか、交通安全に関する調査を実施し地域住民に情報を提供しました。

- (2) デイ・ライト事業の点灯率調査

各地区交通安全推進員により毎月1回デイ・ライト運動の点灯率を調査し、調査結果を関係機関・団体に提供をして、実施率の向上と一般ドライバーの参画意識の向上を図り交通安全意識の高揚に努めました。

- (3) 交通安全推進員の研修

交通安全推進員研修会

交通安全推進員14名を対象に研修会を開催し、事業概要、交通安全運動の推進要領の確認を行い、更に交通安全運動の取組み方や活動事例について研修しました。

- ・4月21日 札幌市（第二北海道通信ビル）

3 広報事業

- (1) 交通安全総決起大会

秋の全国交通安全運動行事の一環として、「2014交通安全道民総決起大会」を開催し、一般社団法人北海道建設業協会による交通事故防止総ぐるみ運動や株式会社ドーコンモビリティデザインによる自転車に関する諸問題の改善への取組み事例の発表を行うと共に、交通安全宣言を行い交通事故防止を訴えました。

- ・9月19日 札幌市（かでのホール） 400名参加

- (2) 新聞紙面を活用した広報活動

正会員である新聞社と連携し、交通安全に関する自主的取組みを積極的に支援し、新聞紙面を活用した広範な広報活動を推進しました。

新聞社名	新聞掲載日
朝日新聞北海道支社	12月4日、12月10日、12月17日、12月18日
読売新聞北海道支社	9月21日、11月15日、11月19日
毎日新聞北海道支社	6月29日、9月21日、1月1日、2月24日
北海道日刊スポーツ新聞	7月12日、7月13日、7月15日、9月21日 9月23日、9月28日、11月13日、11月15日

(3) 広報啓発活動支援事業

当委員会における交通安全活動状況や、関係機関・団体の特色ある交通安全活動や地域の話題を掲載した機関誌「ゆっくり走ろう北海道」を発行し、交通安全情報を提供して安全意識の高揚を図りました。

・7月、10月、1月及び3月発行各11,000部

(4) 交通安全ニューメディア啓発

ホームページを適時更新し、広範な交通安全情報を提供して安全運動に対する理解と協力を得ました。

4 表彰事業

(1) ゼロ運動顕彰

交通事故死ゼロ継続期間が、基準日数に達した市町村の交通安全推進委員会等を表彰しました。

月別	市町村名（日数）	市町村計
4月	積丹町(5,000)音威子府村(4,000)上ノ国町(2,000)大空町(1,500) 津別町(1,500)幌延町(1,000)和寒町(1,000)東川町(1,000)士幌町(700) 鹿追町(700)大樹町(700)南幌町(700)雄武町(700)鶴居村(500) 寿都町(500)森町(500)芦別市(300)千歳市(300)小樽市(200)	3市14町2村 (計19市町村)
5月	新篠津村(2,500)ニセコ町(2,000)泊村(2,000)羽幌町(1,000) 足寄町(1,000)豊富町(1,000)三笠市(700)鷹栖町(700)利尻富士町(700) 知内町(500)弟子屈町(500)士別市(300)	2市8町2村 (計12市町村)
6月	松前町(2,500)興部町(2,500)猿払村(2,500)湧別町(1,000)中川町(1,000) 沼田町(700)当別町(700)小清水町(500)留萌市(300)岩見沢市(300) 釧路市(200)	3市7町1村 (計11市町村)
7月	鹿部町(1,000)中札内村(1,000)下川町(700)比布町(700)初山別村(700) 増毛町(700)美幌町(700)砂川市(700)根室市(500)長沼町(500) 美唄市(300)	3市6町2村 (計11市町村)
8月	礼文町(1,500)上川町(700)訓子府町(700)奥尻町(500)本別町(500) 北広島市(300)石狩市(300)網走市(300)	3市5町 (計8市町)
9月	秩父別町(1,500)天塩町(1,000)南富良野町(700)美深町(700)幕別町(700) 白糠町(700)浦臼町(700)黒松内町(500)登別市(500)赤平市(300)	2市8町 (計10市町)
10月	乙部町(2,000)浜中町(1,500)豊浦町(1,000)壮瞥町(700)標茶町(700) 鶴居村(700)寿都町(700)木古内町(500)北斗市(300)	1市7町1村 (計9市町村)
11月	上砂川町(1,500)枝幸町(1,000)知内町(700)森町(700)更別村(500) 厚岸町(500)滝川市(300)紋別市(300)江別市(200)	3市5町1村 (計9市町村)
12月	赤井川村(1,500)安平町(1,500)仁木町(1,000)雨竜町(500)士別市(500) 幌加内町(500)美瑛町(500)佐呂間町(500)伊達市(300)	2市6町1村 (計9市町村)
1月	置戸町(4,500)京極町(4,000)留寿都村(3,000)今金町(3,000) 新十津川町(1,000)蘭越町(500)長万部町(500)留萌市(500)斜里町(500) 上士幌町(500)	1市8町1村 (計10市町村)
2月	利尻町(2,000)雄武町(1,000)士幌町(1,000)鹿追町(1,000)長沼町(700) 中富良野町(500)浜頓別町(500)網走市(500)遠軽町(500)釧路町(500)	1市9町 (計10市町)

3月	歌志内市(1,500)真狩村(1,500)鷹栖町(1,000)利尻富士町(1,000) 黒松内町(700)登別市(700)奥尻町(700)本別町(700)福島町(500) 遠別町(500)	2市7町1村 (10市町村)
合 計 26市90町12村 (計128市町村) を表彰		

(2) 交通安全運動支援寄付表彰

9月25日、第35回建設産業交通安全全道大会に堰八会長並びに吉野筆頭副会長が出席し、建設産業交通安全推進北海道本部より、交通安全推進事業資金として500,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

(3) 指導員・奉仕員表彰

永年にわたり交通安全運動推進のため活躍した交通安全指導員、交通安全奉仕員190名を表彰しました。(表彰式 平成27年2月6日 ホテルポールスター札幌)

(4) 母の会会員表彰

永年にわたり子供や高齢者等に対する交通安全活動推進のため活躍した、交通安全母の会会員等43名を表彰しました。(表彰式 平成27年2月6日 ホテルポールスター札幌)

(5) 一般表彰

地域又は職域等において交通安全推進のため顕著な活動をした6個人・3団体を表彰しました。(表彰式 平成27年2月6日 ホテルポールスター札幌)

第2 交通安全活動支援事業（公益目的事業2）

通年運動として、7大セーフティキャンペーン等と連動し、地域・職域・学校等の交通安全を実施しました。

7大セーフティキャンペーン（北海道交通安全総合対策本部決定）	
趣 旨	年間を通じて、広く道民が参加する交通安全キャンペーンであり、北海道の交通事故の状況を踏まえ、地域・職域が中心となって、それぞれの特性に応じて取り組むものとし、子供から高齢者まで幅広い年齢層が参加するイベント等を活用するなど、場所や方法に工夫を凝らしながら、広く道民に交通安全を呼びかけるとともに「民間団体等の活動の促進」や「交通安全情報の発信活動の推進」に配慮して積極的に推進する。
内 容	「高齢者事故防止」、「自転車走行ルール・マナーアップ」、「シートベルト全席着用」、「スピードダウン」、「飲酒運転根絶」、「居眠り運転防止」及び「デイ・ライト実践」

1 交通安全啓発支援事業

(1) 広報啓発活動支援事業

交通安全運動の推進を図るため、啓発資材を作成・配布して交通安全意識の高揚を図りました。

・ポケットティッシュ 300,000個

(2) デイ・ライト運動推進事業

デイ・ライト運動の浸透・定着を図るため、期別運動で作成するポスターやチラシ等にデイ・ライト運動を標記して、その推進に努めました。

(3) 自転車の交通事故防止事業

・新小学生、新中学生及び新高校生を対象に、「自転車安全利用五則」等を盛り込み、生徒をはじめその保護者や指導者にも役立つ内容の「自転車安全啓発リーフレット」を作成・配布し、自転車利用時の安全運転意識の向上や、マナーアップを図りました。

・リーフレット（小学生用） 50,000枚【新1年生】

・リーフレット（中学生用） 37,500枚【新1年生】

・リーフレット（高校生用） 40,000枚【新1年生】

(4) 期別運動

ア 春、夏、秋及び冬の4期40日間、関係機関・団体と連携し、7大セーフティキャンペーンを中心に集いや総決起大会の開催、街頭啓発を活発に展開しました。

運動の種類	運動期間	主要行事
春の全国交通安全運動	4月6日～15日	春の全国交通安全運動セーフティコール（4月7日）
夏の交通安全運動	7月11日～20日	夏の交通安全運動道民の集い（7月10日）
秋の全国交通安全運動	9月21日～30日	2014交通安全道民総決起大会（9月19日）
冬の交通安全運動	11月11日～20日	冬の交通安全運動「セーフティコール」（11月11日）

イ 各期の交通安全運動の重点等を周知させるため、交通安全運動北海道実施要綱やポスターを作成し、関係機関・団体に配布しました。

種別	作成時期	作成部数
実施要綱	夏、秋、冬及び春の交通安全運動用	各48,000部
ポスター	夏、冬の交通安全運動用	各7,050枚

(※春と秋のポスターは、全国運動により内閣府で作成)

(5) 交通安全ライブラリー事業

ア 交通安全に関する視聴覚教材（ビデオ・DVD）を各市町村交通安全推進委員会や各団体等に貸出して、安全意識の高揚を図りました。

イ 各種大会や交通安全パネル展で使用する交通安全パネル等を各市町村や各団体等に貸出し、安全意識の高揚を図りました。

(6) 交通安全啓発活動事業

ア 道民交通安全の日

毎月15日の「道民交通安全の日」には、関係機関・団体と連携し街頭啓発を実施のほか、交通安全旗の掲出や啓発資材を配布して、道民交通安全の日の周知と安全意識の高揚を図りました。

イ 無事故の日

6月25日の「無事故の日」には、関係機関・団体と連携し、旗の波活動等の街頭啓発等を実施したほか、啓発資材を配布して、無事故の日の周知と安全意識の高揚を図りました。

ウ バイクの日

8月19日の「バイクの日」に合わせて、二輪車の事故防止を訴える「交通安全三角旗」を作成し、二輪車の来訪が多い観光地等でライダーに配布し、安全意識の高揚と事故防止を呼びかけました。

・交通安全三角旗 4,000本作成

エ 暴走運転防止

暴走運転の危険性を認識してもらうため、安全速度の励行を呼びかけるポスターを作成・配布して、スピードダウンを呼びかけました。

・ポスター 3,000枚

オ 各種交通安全啓発活動

市町村の啓発活動支援のため、街頭啓発等用の「交通安全のぼり旗」を作成して、各市町村へ配布し、交通安全意識の高揚を図りました。

・交通安全のぼり旗 1,500枚

(7) 幼児の事故防止事業

幼稚園、保育所等で結成されている「こぐまクラブ」の活動を支援するため、クラブ活動状況を紹介する「こぐまクラブ活動の手引き」を作成し、道内全幼稚園、保育所等に配布して、交通安全意識の高揚を図りました。

・活動の手引き 2,100部

(8) 市町村広報活動の支援事業

市町村の広報活動支援のため、広報車用音声データ（広報用カセットテープ・CD）を作

成し、各市町村へ配布しました。

・広報用カセットテープ・CD 690本

2 交通安全運動の展開（関係機関等との連携事業）

(1) シートベルト全席着用

ア 関係機関・団体と連携し、各期の交通安全運動や集い等で全ての座席でシートベルト・チャイルドシートの確実な着用を呼びかけました。

イ シートベルトやチャイルドシート着用の向上を図るため、街頭啓発等において、着用を呼びかけました。

(2) スピードダウン運動

ア 関係機関・団体と連携し、各期の交通安全運動期間や集い等でスピードダウンを呼びかけました。

イ 暴走運転の危険性を認識していただくため、安全速度の励行を呼びかけるポスターを作成配布して、スピードダウンを呼びかけました。（再掲）

(3) 飲酒運転根絶運動

ア 関係機関・団体と連携し、歓楽街等における啓発や飲食店への訪問活動で飲酒運転の根絶や車両の貸与、飲酒した者が運転する車両への同乗禁止を呼びかけました。

イ 平成26年7月小樽市の市道近くの「おたるドリームビーチ」で飲酒後乗用車を運転し、海水浴客4人を死傷させるという、大変悲惨な事故が発生したことから、急遽チラシを作成配布し、飲酒運転根絶を呼びかけました。

ウ 各種会議や研修会において、飲酒疑似体験ゴーグルを活用し、飲酒後の平衡感覚の喪失や身体能力の低下を疑似体験することにより、飲酒運転の危険性の認識の向上やハンドルキーパー運動の推進のほか、就業前の飲酒状態の点検の普及を図る一環として、アルコールチェッカーを関係団体等に貸出をして、飲酒運転の根絶を呼びかけました。

(4) 居眠り運転防止

ア 関係機関・団体と連携し、各期の交通安全運動等で居眠り運転防止を呼びかけました。

イ 居眠り運転防止用の啓発資材を街頭啓発等で配布して、居眠り運転防止を呼びかけました。

(5) 交通安全の日等の運動

ア 交通事故死ゼロを目指す日

道民の交通安全意識の高揚を図るため、関係機関・団体と連携し「交通事故死ゼロを目指す日」の啓発を実施し、「交通事故死ゼロを目指す日」の周知と安全意識の高揚を図りました。

・4月10日 大通西1丁目

イ 自転車安全日

毎月第1、第3金曜日の「自転車安全日」には、関係機関・団体と連携し、歩行者保護、交差点の安全通行、子どものヘルメット着用等、マナーの向上と自転車の安全利用を呼びかけました。

ウ その他の交通安全対策

① 各期の交通安全運動期間中、北海道と共催し、道庁1階ロビーで「交通安全展」を開催しました。

・4月10日～11日 春の全国交通安全運動期間

・7月14日～16日 夏の交通安全運動期間

・9月22日～24日 秋の全国交通安全運動期間

・11月13日～14日 冬の交通安全運動期間

② 札幌地区二輪車普及安全協会による「第13回バイクにフレンドシップ in さっぽろ」において、関係機関・団体と協力をしながら、啓発を実施し事故防止を呼びかけました。

・7月13日 赤れんが庁舎前庭 バイク120台参加

③ 赤レンガ走友会による「第27回交通安全キャンペーン100キロ駅伝」において、休憩地である中山峠山頂「道の駅駐車場」において走友会と合同で街頭啓発及び啓発物の配布を行い、事故防止を呼びかけました。

・7月27日 中山峠

- ④ 一般社団法人札幌電設業協会が主催した交通安全街頭啓発に参加し、事故防止を訴えました。
 ・ 9月25日 札幌大通公園付近
- ⑤ 北海道交通安全指導員連絡協議会の主催で実施されたブロック別指導員研修会を後援し、交通指導員のための交通事故防止等の研修を行いました。

10月3日	日高町	10月8日	名寄市	10月10日	中標津町	10月17日	森町
-------	-----	-------	-----	--------	------	--------	----

エ 各種キャンペーン・大会等と連動した運動

- ① 平成26年度工事着工期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動（後援）
 ・ 期間 5月1日～6月30日
 ・ 主催 建設産業交通安全推進北海道本部
- ② 平成26年度全道町内会活動研究大会（後援）
 ・ 期日 5月27日
 ・ 主催 一般社団法人北海道町内会連合会、社会福祉法人北海道社会福祉協議会
- ③ 第42回全道青年祭兼第65回全道青年大会（協賛）
 ・ 期間 5月31日～6月1日・7月12日～13日
 ・ 主催 北海道青年団体協議会
- ④ 平成26年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール（後援）
 ・ 期間 9月19日（審査）～10月25日（表彰式）
 ・ 主催 農業協同組合、JA共済連北海道
- ⑤ 第65回北海道女性大会（後援）
 ・ 期日 7月11日
 ・ 主催 北海道女性団体連絡協議会
- ⑥ 生命のメッセージ展 in 札幌（後援）
 ・ 期間 7月11日～13日
 ・ 主催 生命のメッセージ展 in 札幌実行委員会
- ⑦ 第49回交通安全子供自転車北海道大会（協賛）
 ・ 期日 7月13日
 ・ 主催 一般財団法人北海道交通安全協会
- ⑧ 平成26年度町内会・自治会広報コンクール（後援）
 ・ 期間 9月1日～10月31日
 ・ 主催 一般社団法人北海道町内会連合会
- ⑨ 第6回交通安全高齢者自転車北海道大会（共催）
 ・ 期日 9月10日
 ・ 主催 一般財団法人北海道交通安全協会
- ⑩ HBCラジオ交通安全キャンペーン（後援）
 ・ 期間 9月20日～12月19日
 ・ 主催 HBCラジオ
- ⑪ 平成26年度ブロック別町内会活動研究大会（後援）
 ・ 期日 9月25日・26日、10月2日・3日、10月6日・7日、10月16日・17日
 ・ 主催 一般社団法人北海道町内会連合会、社会福祉法人北海道社会福祉協議会
- ⑫ 第35回建設産業交通安全全道大会（後援）
 ・ 期日 9月25日
 ・ 主催 建設産業交通安全推進北海道本部
- ⑬ 平成26年度工事追込期における建設産業交通事故防止総ぐるみ運動（後援）
 ・ 期間 10月1日～11月30日
 ・ 主催 建設産業交通安全推進北海道本部
- ⑭ 冬期違法駐車撲滅キャンペーン2015（後援）
 ・ 期間 1月1日～3月31日

・主催 読売新聞北海道支社、株式会社読売エージェンシー

3 交通事故防止支援事業（高齢者の交通事故防止事業）

(1) 市町村や老人クラブ、交通安全母の会等と連携し、夜光反射材の有用性と効果を体験・認識することにより、反射材の普及促進と高齢者の事故防止を図りました。

・夜光反射材実演会 64回 10,656人参加

(2) 道内における高齢者の事故事例を検証した「事故検証マップ」を作成・展示等して高齢者の事故防止を図りました。

・事故検証マップ 30枚作成

・マップ活用実施回数 40回 2,573人参加

(3) 高齢者の死亡事故が多発している市町村を重点に、高齢者を始めとして、子供やその親が世代の垣根を越えて相手への理解と思いやりを深めながら自ら参加し、考え、学ぶ「世代間交通安全交流事業」を展開し、交通安全意識の高揚を図りました。

・9月9日 北見市 50名参加

(4) 各市町村交通安全推進委員会や団体が実施する「高齢者事故防止モデル事業」に必要な助成を行い、事故防止を図りました。

○助成先一覧

(単位：円)

助成先	事業内容	助成額
砂川市	高齢者交通安全教室・夜光反射材普及活動	12,000
滝川市	高齢者宅訪問事業	7,100
深川市	交通安全教室	5,200
芦別市	交通安全教室・夜光反射材普及活動	75,900
札幌市	高齢者に夜光反射材等の配布	100,000
江別市	高齢者交通安全教室・世帯訪問事業・総決起大会	63,800
石狩市	市交通安全作品展参加者に記念品贈呈	60,000
小樽市	高齢者交通安全教室・夜光反射材普及活動	12,000
岩内町	夜光反射材普及活動	10,200
共和町	独居老人訪問、交通安全教室、夜光反射材の配布	39,000
苫小牧市	高齢者交通安全街頭指導、夜光反射材効果体験会等	34,300
新ひだか町	夜光反射材普及活動	41,500
函館市	夜光反射材普及活動	10,800
厚沢部町	高齢者交通安全教室	2,400
士別市	高齢者交通安全教室・夜光反射材普及活動	15,900
美深町	啓発集会の開催・夜光反射材普及活動	10,500
美幌町	シルバー交通安全大会の開催	9,000
佐呂間町	高齢者交通安全教室・セーフティコールの実施	10,500
新得町	高齢者交通安全教室・夜光反射材普及活動	26,000
帯広市	高齢者ドライバー体験会の開催	40,000
北海道老人クラブ連合会	全道老人クラブ交通安全推進大会	75,000
合計（21団体（20市町+1団体））		661,100

【助成先の市町村名は「各市町村交通安全推進委員会」です】

(5) 一般財団法人北海道老人クラブ連合会が主催の「第12回全道老人クラブ交通安全推進大会」時において、夜光反射材の活用方法や交通安全パネルの掲示等により、参加者に事故防止を呼びかけました。

・7月11日 400名参加

(6) 市町村交通安全母の会が中心となって高齢者宅を訪問し、事故防止を呼びかけました。

第3 交通遺児育英事業（公益目的事業3）

1 交通遺児奨学助成事業

中学生、中等教育学校生、高等学校生、高等専門学校生及び専修学校生（高等課程・専門課程）を対象に、平成27年3月末日現在、奨学生5人（高校生4人、専修学校生1人）に奨学金の貸付を行いました。（S51～実施 372件 貸付総額 209,755,000円）

(1) 資金造成事業

黄色い羽根街頭募金運動のため「黄色い羽根」6,000本を購入し、募金実施市町村へ配付しました。

(2) 奨学金募集等事業

広く道民へ貸付事業の浸透を図るため、募集ポスターを作成し、学校を初めとして、関係機関・団体に配布しました。

(3) 広報啓発活動事業

機関誌「フレンドリー通信」を9月に1,600部、3月に2,000部発行しました。

(4) 称賛事業

ア 寄附金の受納額 4,457,497円

イ 寄附者への感謝状等の贈呈

a 5月9日、空知建設産業安全大会に中村筆頭副会長が出席し、一般社団法人空知建設業協会より265,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

b 8月25日、北海道リース株式会社50周年祝賀会に吉野筆頭副会長が出席し、北海道リース株式会社・北海道リース株式会社社員会一同より500,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

c 9月17日、2014ANAオープンゴルフトーナメントアマプロチャリティトーナメント表彰式に吉野筆頭副会長が出席し、全日本空輸株式会社より500,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

d 9月25日、第35回建設産業交通安全全道大会に堰八会長並びに吉野筆頭副会長が出席し、建設産業交通安全推進北海道本部より500,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

e 1月18日、小林豊子きもの学院新年交礼会に吉野筆頭副会長が出席し、小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会より300,000円受納し、感謝状を贈呈しました。

f 3月13日、今金町瀧澤忠一様より1,000,000円受納し、三田村事務局次長が感謝状を贈呈しました。

g その他寄附金1,392,497円受納しました。

・黄色い羽根募金による寄附受納 447,098円（11件）

・箱募金による寄附受納 507,572円（92件）

・その他 437,827円（22件）

ウ 寄附者の朝日新聞への掲載 掲載日6月30日

(5) 奨学金返還未納者調査

返還未納者に対し、電話及び手紙の督促を行いました。

2 特例奨学金（給付金付き）制度

(1) 貸付を受けた奨学金の70%返還時、残り30%を本委員会から給付し返還を完了します。

(2) 返還期間は、最長65歳に達する月までとします。（最短10年）

(3) 月返還額は、原則5,000円以上とします。（特殊事情は、協議します）

3 作文募集事業

交通遺児奨学生等を対象とした作文コンテストを実施しました。

第4 交通安全推進団体交付金事業

1 地区活動の充実

地区交通安全推進協議会の運営と地区管内の交通安全運動の推進に係る支援を行い、その充実を図りました。

2 地区交通安全独自活動への支援

地区交通安全推進協議会が地域の実情にあった独自の交通安全活動を支援するため、必要な助成を行い、事業の推進に努めました。(1地区120,000円)

地区名	事業名
空知	平成26年度 秋の交通安全啓発用チラシ作成配布
石狩	夜光反射材普及啓発事業
後志	春の行楽期の交通安全運動
胆振	高齢者輪禍防止事業(夜光反射材普及活動)
日高	交通安全啓発促進事業(夜光反射材普及)
渡島	高校生の下校時における交通事故防止
檜山	新成人に対する啓発活動、新入学時に対する啓発活動
上川	交通安全啓発事業(高齢者等重点対策事業)
留萌	オロロンライン夏期特別啓発事業
宗谷	交通死亡事故抑止事業
オホーツク	こどもと高齢者の交通事故防止事業
十勝	とちか交通安全メッセージ作戦
釧路	観光地・キャンプ地における交通安全啓発事業
根室	7大キャンペーンの展開と交通安全教育の普及

3 母親交通安全活動の強化

北海道交通安全母の会の事務局業務を展開するほか、自主的に実施する交通安全事業を支援するため必要経費の一部助成を行い、主に次の事業を実施しました。(337,500円)

ア 「無事故の日」の啓発

イ 北海道交通安全母の会研修会の開催

・10月31日 札幌市(第二北海道通信ビル) 41名参加

ウ 交通安全啓発活動の支援

交通安全母の会が実施する啓発活動時に必要な啓発資材を作成・配布して活動の支援を行いました。

第5 管理事業(法人会計)

1 社員総会の開催

(1) 日時 平成26年6月12日(木) 13時00分～13時45分

(2) 場所 札幌市(ホテルポールスター札幌)

(3) 来賓

北海道副知事 山谷 吉宏 様

北海道警察本部交通部長 藤井 祐昭 様

北海道教育委員会教育次長 谷藤 雅人 様

(4) 会員総数 263会員

出席会員 250会員(うち委任状211会員)

(5) 議題

報告事項

第1号報告 平成26年度 事業計画書及び収支予算書の件

決議事項

- 第1号議案 平成25年度 事業報告及び決算報告承認の件
- 第2号議案 定款変更の件
- 第3号議案 役員改選の件

2 理事会の開催

【第1回】

- (1) 日 時 平成26年5月23日(木)
- (2) 決議事項 平成25年度 事業報告及び決算報告の承認について
- (3) 決議内容 定款第37条の規定に基づき理事の全員が書面により同意

【第2回】

- (1) 日 時 平成26年6月12日(木) 12時00分～12時25分
- (2) 場 所 札幌市(ホテルポールスター札幌)
- (3) 出席者
 - 理事総数 28名
 - 出席理事 17名
 - 出席監事 2名
- (4) 議 題

報告事項

- 第1号報告 平成26年度 事業計画書及び収支予算書の件
- 第2号報告 平成25年度 事業報告及び決算報告並びに監査報告の件
- 第3号報告 交通遺児奨学部会委員の選任の件
- 第4号報告 資産運用の計画、経過及び結果の報告の件
- 第5号報告 会長、筆頭副会長及び副会長の職務執行状況の件

決議事項

- 第1号議案 特別会員の件
- 第2号議案 定款変更の件
- 第3号議案 規定変更の件
- 第4号議案 役員改選の件

【第3回】

- (1) 日 時 平成26年6月12日(木) 13時45分～13時55分
- (2) 場 所 札幌市(ホテルポールスター札幌)
- (3) 出席者
 - 理事総数 30名
 - 出席理事 22名
 - 出席監事 2名
- (4) 議 題

決議事項

- 第1号議案 会長、筆頭副会長及び副会長の選任の件
- 第2号議案 常勤役員報酬の件
- 第3号議案 事務局長承認の件

【第4回】

- (1) 日 時 平成27年3月4日(水) 13時00分～13時55分
- (2) 場 所 札幌市(第二北海道通信ビル)

(3) 出席者

理事総数 30名

出席理事 24名

出席監事 2名

(4) 議題

報告事項

第1号報告 平成26年度第1回収支補正予算書の件

第2号報告 平成27年度特定資産運用計画、計画及び結果の件

第3号報告 会長、筆頭副会長及び副会長の職務執行状況の件

決議事項

第1号議案 平成26年度第2回収支補正予算書(案)の件

第2号議案 平成27年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)の件

第3号議案 平成27年度定時社員総会の日時及び場所並びに目的事項の件

3 幹部理事会の開催

(1) 日時 平成26年11月19日(水) 10時00分～10時35分

(2) 場所 札幌市(第二北海道通信ビル)

(3) 出席者

部会員総数 6名

出席部会員 4名

出席監事 2名

(4) 議題

報告事項

第1号報告 平成26年度 事業経過について

第2号報告 平成27年度 予算要求(北海道補助金)の進捗状況について

決議事項

第1号議案 平成26年度 収入支出補正予算(案)について

4 交通遺児奨学部会の開催

【第1回】

(1) 日時 平成26年4月17日(木) 13時40分～14時15分

(2) 場所 札幌市(第二北海道通信ビル)

(3) 出席者

部会員総数 10名

出席部会員 6名

(4) 議題

報告事項

第1号報告 平成25年度 交通遺児奨学生への貸付・返還等状況について

決議事項

第1号議案 平成26年度奨学生の採用について